

8) ビート移植機

(1) 用途

ビート（甜菜）苗の移植に使用する。

(2) 構造

紙筒苗（ペーパー・ポット）用の移植機であり、トラクターけん引型の機械である。植付機構が、ホルダ式とゴム円板式とがあるが、後者の方が多くなっている。

作業は1条に補助者1名が対応して苗箱から1列24本の苗をコンベアに載せ、欠株となる空のポットを手で除去しながら植付部へ供給する方式や、光電管とベルトにより空ポットを自動選別除去する装置を備えたものがある。また、1人で2条分の苗補給をできるように苗の振り分け装置を備えたものもある。更に、連続紙筒（チェーン・ポット）を使用した全自動移植機もあり、これは紙筒をローラーで引き出して分離ローラーへ送り、そこで1株ずつ分離して、開溝器で開けた溝へ落下させ植え付ける方式のものである。

(3) 取扱い上の留意点

良い苗を準備することが大切である。紙筒苗は良苗率やほ場活着率を考慮して、10a 当たり6冊（1冊は1400本）程度準備する必要がある、1冊の重さは灌水状態で50～55kgであるので、10a 当たりでは300kg以上の苗を運搬する必要がある。

(4) 安全作業のポイント

- ① トラクターと本機両者の取扱説明書や安全ラベルを良く読み理解する。
- ② PTO軸や可動部のカバーは常に所定の位置に付けておく。
- ③ 作業中は補助者以外は乗せない。
- ④ 点検・調整・修理は、必ずトラクターのエンジンを止めてから行う。
- ⑤ 着脱時には作業機との間の挟まれや押し潰されに注意する。
- ⑥ 始動、発進、後進時には必ず周囲に人がいないことを確認する。

- ⑦ 移動時には他車との追突や接触に注意する（予防対策として反射材などを活用する）。
- ⑧ 補助者を含めてPTO軸や回転部などへの巻き込まれや人の転落に注意する。

(6) 価格例

人力供給2畝用（適用トラクター 45～60 PS）で、140～150万円、全自動式2畝用（適用トラクター 70 PS以上）で260～440万円程度のものがある。

